

What is Firm-Specific Human Capital?

A Model of *Firm-Specific* Combination in *General* Skills Generated by History Dependent Assignment Process

日本語要旨

July 2004

Shigeru Wakita

Faculty of Economics, Tokyo Metropolitan University
1-1 Minami-Osawa, Hachioji-shi, Tokyo, Japan 192-0397
wakita@bcomp.metro-u.ac.jp

本論文は企業特殊的人的資本の具体的内容について、モデルを提示する。生産がいくつかの工程に分割され、労働者がいくつかの工程を受け持つために企業内訓練が行われる場合、その工程自体は一般的なものであったとしても、工程の組合せに企業特殊性が生じることが考えられる。本論文では世代重複モデル上で競争企業の最適化条件から、工程の組合せは初期条件に依存し、同一の組合せに収束しない条件を導出した。

[例] 「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「計量経済学」「経済数学」の4つの授業($n=4$)を幾人かの教官で出講している状況で、一人が2つずつ授業を行う時間的余裕がある($q=2$)と考えよう。ミクロ経済学の授業を行える教官は{ミクロ・マクロ}・{ミクロ・計量}・{ミクロ・経済数学}の3種類があることになる。この場合 A 大学では{ミクロ・マクロ}の組合せが一般的であり B 大学では{ミクロ・経済数学}の組合せが一般的であれば、技能の組合せが違うことにより、熟練が企業特殊であると考えるわけである。

以上の例は外生的な特性のもとでのマッチングが問題となっているが、本モデルでは企業内訓練を導入して、特性が内生的であっても、その組合せが歴史的な経路依存性を持つ条件を解析的に導出した。